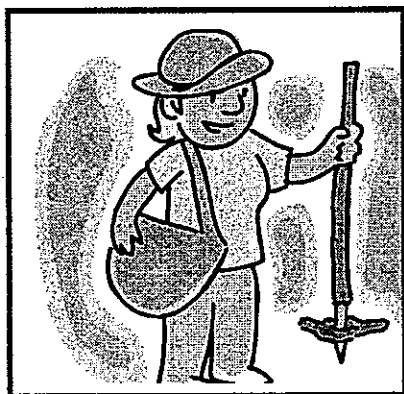


「一般市民向け災害関連講演会」

生活不活発病 について

東日本大震災からの復興への道のりが始まったばかりですが、震災により生活環境が激変した方々だけでなく、特に高齢者においては、家の外でする事が無い、出かけるのがおっくうなどの理由で活動性が低下しており、何らかの対策を講じなければ、歩きにくくなったり、介護が必要になったりする事もあります。今年1月に仙台市医師会で実施した生活不活発病アンケートでは、被災後10ヶ月を過ぎても2割の方に歩行困難が残っているとの結果が出ました。生活不活発病は被災後数年間にわたり多く認められます。また、災害時だけに出現するのではなく、日常でも起こる病気です。

仙台市医師会では病気の症状だけでなく、身の回りの動作など日常生活での困難さなども含め対応をしていきたいと考えています。そこで、今回下記により生活不活発病の危険性や予防・改善策についての講演会を開催しますので、ご案内いたします。



■日 時：平成24年6月23日(土)14:00～15:00

■場 所：仙台市急患センター 2階ホール

(仙台市若林区舟丁64-12)

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

◇地下鉄をご利用の場合

地下鉄河原町駅下車、北1出口から徒歩3分。(国道を挟んで向かい側)

◇市営バス・宮交バスをご利用の場合

舟丁バス停下車。仙台駅方面行きバス停から徒歩1分、長町方面行きバス停から徒歩3分。

■講演

演題名 高齢者の知恵と能力を生かそう
—生活不活発病を防ぐ—

講師 (独) 国立長寿医療研究センター

生活機能賦活研究部

部長 大川 弥生 先生

◆参加申込は不要です。
直接会場へお越しください。

◆問合せ先
仙台市医師会
電話227-1531

主 催：仙台市医師会

後 援：仙台市